

都市アイデンティティの4つの地域資源にちなんだお菓子を限定販売します ～「ハッピー製菓調理専門学校」が市長を表敬訪問します～

千葉市では、千葉市固有の歴史やルーツに基づく4つの地域資源である「加曽利貝塚」「オオガハス」「千葉氏」「海辺」について、より多くの方に知っていただけるよう取り組みを進めています。

このたび、市内の製菓専門学校であるハッピー製菓調理専門学校の学生が4つの地域資源にちなんだクッキーを製作し、学校のイベント日にあわせて限定販売しますので、お知らせします。

また、これに先立ち、千葉開府の日である6月1日にハッピー製菓調理専門学校の生徒等が市長を表敬訪問しますので、併せてお知らせします。

1 製菓の販売について

(1) 日程 (計6回) ※すべて水曜日

- ① 6月7日 ② 6月14日 ③ 6月28日
④ 7月5日 ⑤ 7月19日 ⑥ 7月26日

(2) 時間

11:30～15:00 (売り切れ次第終了)

(3) 場所

学校法人中村学園 ハッピー製菓調理専門学校

Happy café (ハッピーカフェ) 1F (※)
(中央区新宿2-6-21)

※Happy café (ハッピーカフェ) とは、
制作から準備、販売、接客などの運営を全て
学生が行っている学内カフェで、不定期開催。

(4) 内容

4資源にちなんだクッキー50セットのほか、
学生が作った製菓を販売します。



4資源にちなんだクッキー

(画像の上から時計回り)

【千葉氏】月星紋

【海辺】水色のチョコレートと塩

【加曽利貝塚】くるみ

【オオガハス】ピンク色のチョコレート

2 表敬訪問について

(1) 日時

令和5年6月1日 (木) 15:30から

(2) 場所

市役所新庁舎高層棟4階 市長応接室

(3) 訪問予定者

ハッピー製菓調理専門学校 学生4人
教員2人

<参考>

【千葉開府の日とは】

平安時代後期、大治元年(1126年)の6月1日に、桓武平氏平高望の子孫、常重(つねしげ)は現在の緑区大椎町から中央区亥鼻付近に本拠地を移し、初めて「千葉」と名乗りました。これをもって千葉のまちとしての歴史が始まったとされています。

「大治元年丙午六月朔(ついたち)、初めて千葉を立つ、凡そ一萬六千軒也。表八千軒、裏八千軒、小路表裏五百八十餘小路也。」

これは、当時の「千葉」のまちの様子を表した「千学集抜粹(せんがくしゅうぼっすい)」(戦国時代末期に成立)の記載です。

千葉市では、6月1日を「千葉開府の日」、2026年を「千葉開府900年」として位置づけ、市民の皆様には千葉のまちの成り立ちとその礎を築いた千葉氏について知っていただけるよう、さまざまな取り組みを展開しております。

【新庁舎グランドオープンにあわせて市民ヴォイドで関連展示します】

漫画「千葉常胤公ものがたり」のパネルのほか、鎌倉時代の武士の鎧を模した大鎧(おおよい)を展示します。

○大鎧とは

馬上で弓矢を使って戦う武士が着ていた鎧です。

馬に乗ったときに太ももや腕をすっぽりと隠すための大きな草摺(くさずり)や大袖が特徴です。

歩兵による集団戦が一般的になると、次第に実戦では使われなくなってきました。

○展示場所

市役所新庁舎1階 市民ヴォイド

○展示期間

令和5年6月1日(木)～令和5年6月7日(水)

開庁時間であればどなたでもご覧になれます。



お問い合わせ先

【表敬訪問取材について】

取材を希望される方は、5月31日(水)正午までに都市アイデンティティ推進課(245-5052)へご連絡ください。

【販売の詳細について】

ハッピー製菓調理専門学校 電話 239-2520 (担当:副校長 長山)